

リアルワールドデータで示す 健康・生活習慣と新型コロナウイルスの関係性

あなたの未来を強くする

住友生命

JMDC
●+×◀

健康増進活動は新型コロナウイルス予防の鍵を握っており、特に生活習慣病リスクを抑えることが重要です。健康・生活習慣と新型コロナウイルスの関係性を理解するために、リアルワールドデータを用いた分析を行いました。

2024年の新型コロナウイルスの患者数は

推計 **1,552万人**

これは、インフルエンザの患者数よりも

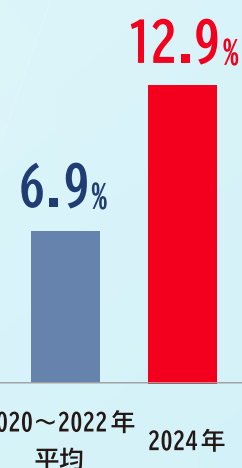
約 **400万人** 多い

ワクチン接種や治療薬などは普及しているものの、感染力はインフルエンザより高く依然として公衆衛生上の重要な課題です。

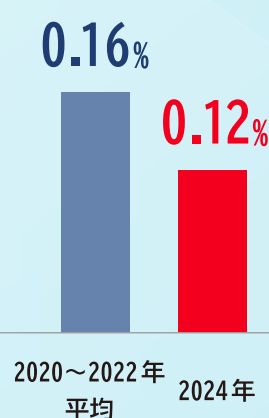
流行初期との比較

新型コロナウイルス診断発生率は流行初期（2020年～2022年）より昨年（2024年）の方が高く、依然として注意が必要な感染症であることに変わりありません。

新型コロナウイルス
診断発生率



新型コロナウイルス
入院発生率



健康・生活習慣と新型コロナウイルスの重症化リスクの関係性

相対リスク（リスク因子あり発生率 ÷ リスク因子なし発生率）

リスク因子		入院	ICU 入院
健康状態	降圧薬使用	2.40	3.36
	糖尿病治療薬使用	2.60	4.11
	脂質異常症治療薬使用	1.57	1.18
	体重増加	1.27	0.94
生活習慣	喫煙習慣あり	0.94	2.06
	歩行習慣なし	1.25	1.36
	就寝前夕食習慣あり	1.13	0.93
	睡眠休養感なし	1.16	1.01

生活習慣病があると
新型コロナウイルスのリスクが
1.2～4.1倍程度 に！

喫煙習慣があると、
新型コロナウイルスの
ICU 入院リスクが
2倍以上 に！

歩行習慣がないと、
新型コロナウイルスのリスクが
1.3倍程度 に！



本資料に記載されている内容は一般的な参考情報であり、医学的助言・診断・治療を代替しないため、健康に関する判断は医療機関にご相談ください。また、本資料の内容の正確性等は保証せず、本資料の利用により生じた損害について責任を負いません。加えて、商用利用が否かに関わらず、記載内容を利用する場合は、出典として以下を掲載してください。

出典：新型コロナウイルス実態調査レポート、August 2025（住友生命保険相互会社・株式会社 JMDC 発行）